

JUDI JOURNAL

第5-6号

人と街づくりを考える情報誌

2021年2月



景観あぜ道による街路緑化



瓜割の滝



調整池を兼用したピオトーフ



地域の集会施設

巻頭- 羅針盤

長期的視野に立った都市づくり

成熟時代・人口減少時代になり、消費を繰り返すのではなく、長期的視野に立って、都市を考えていくことが必要となっている。地方創生におけるSDGsもその一つと考えられ、経済、社会、環境に貢献する持続可能なまちづくりが要求されている。

しかし、建築、土木、造園、都市計画などの都市に関わる技術者は、建設や開発やデザインなどの個々の仕事と、街や地球全体の持続可能性とは相入れないものになるのではないかなど、これまでこうしたことを少なからず考えながら仕事をしてきたのではないだろうか。例えば、「ハコモノだけ作って良いのか」、「ハード整備だけで良いのか」と仕事のなかで一瞬、自問自答した方は多いと思われる。

若狭瓜割エコビレッジの計画は、インフィル型（工場跡地の活用）の26戸の小規模住宅開発を通して、経済、社会、環境の視点から、持続可能なまちづくりに貢献しようとするものであった。

福井県若狭町は人口約1万4千人の小さな自治体であるが、その中心部の上中地区の工場跡地に計画された。この計画は、開発を通して地場の工務店や技術者の発展を目指すこと（経済）、計画段階での市民参加により既存の地域コミュニティの醸成を目指し、さらに新規の若年層の流入によるソーシャルミックスを目指すこと（社会）、ブラウンフィールドの環境改善のため、名水百選に選ばれた水と緑あふれるデザインを目指すこと（環境）を目的としている。

ただ、こうした取り組みも、地球レベルの環境に大きく貢献しているのか、と言われれば、そうでもない。また、こうした開発方法が他の地域で転用の可能性があるかなど、さらに多角的な、また時間による評価も必要とされる。

個々の取り組みが全体の価値の向上や持続性とどのように関わるのかなど、長期的な視野から多角的に都市をデザインする時代が本格的に訪れて来たようだ。

福井大学/北陸ブロック 野嶋慎二

[詳細へGO>](#)

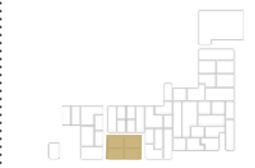
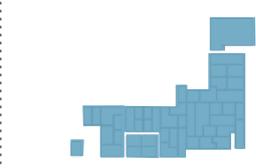
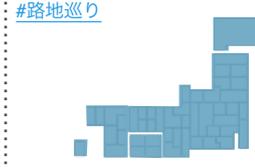
2020年8月-2020年10月の活動概要

関西ブロック	国際委員会	全国	東北+北陸ブロック
2020/07/26	2020/7/27	2020/8/8	2020/8/19
			
<p>【公共空間は誰のものか、誰が使いこなすのか】</p> <p>2020年第2回都市環境デザインセミナー 公共空間の魅力を再点検する<アメリカの状況と居場所論から></p> <p>#公共空間 #居場所論 #ニューヨーク #ハイパー・ジェントリフィケーション</p>	<p>【景観整備の最前線・長崎から学ぶ】</p> <p>JUDI通信編集部(服部・岡・尾辻)で長崎市取材</p> <p>#長崎 #景観まちづくり #夜間景観 #スロープカー</p>	<p>【総会】</p> <p>JUDI全国総会</p> <p>#WEB総会 #JUDI全国ブロック #委員会活動 #活動報告 #コロナ禍</p>	<p>【リモート試食会】</p> <p>東北・北陸酒蔵プロジェクト 発酵文化をテーマに研究会【WEB】</p> <p>#発酵文化 #発酵食品 #地酒 #味噌 #いなだ #いしる</p>
2020/8/28	2020/8/29	2020/9/20	2020/10/9
			
<p>【都市・建築の伝え方、伝わり方】</p> <p>2020年第3回都市環境デザインセミナー 都市デザインはいかに伝えられるか?建築や都市をめぐるメディアの現在と展望</p> <p>#メディア #都市展 #建築展</p>	<p>【景観と色彩の現状を問う】</p> <p>関東ブロックセミナー【WEBセミナー】「色を使って街をとりもどす」</p> <p>#色を使って街をとりもどす #色彩 #まちづくり #景観法 #JUDI関東ブロック</p>	<p>【季刊情報誌】</p> <p>JUDI通信2020年秋号(No.17)『』</p> <p>国際委員会HPへGO></p>	<p>【記念イベントの企画】</p> <p>30周年記念事業実行委員会のキックオフミーティングを開催</p> <p>#JUDI全国ブロック #経緯 #年表 #フォーラム #イベント #未来予想図</p>

2020年11月-2020年12月の活動概要

広報委員会	東北+北陸ブロック	全国	北陸ブロック
2020/11/6-7	2020/11/17	2020/11/21	2020/11/28
<p>【水害被災地等視察】 下呂温泉・高山市・白川郷 視察研修会.</p>	<p>【共催プロジェクト（テーマ検討）】 発酵文化研究会 第1回</p>	<p>【大公園からはじまるまちづくり】 大公園からネットワークする新しい時代のまちづくりピア</p>	<p>【北陸4県の魅力再発見】 北陸ブロックフォーラム 自然物が創る都市の魅力</p>
<p>#スーパーカミオカンデ #ノーベル街道 #白壁 #瀬戸川 #下呂温泉 #7月豪雨災害 #日下部民藝館 #吉島家住宅 #合掌づくり</p>	<p>#魚醤 #しょっつる #醤油 #醸造のまち</p>	<p>#公共空間 #大公園 #魅力向上 #まちづくりピア</p>	<p>#風致地区 #借景 #都市景観活動 #地形変遷 #溶け込む #月光 #湧き水</p>
東北ブロック	中部ブロック	東北+北陸ブロック	全国
2020/11/29	2020/12/5	2020/12/16	2020/12/19
<p>【鶴岡まちなかキネマ再生】 緊急開催! まちキネの創造的再生とまちづくりを考えるフォーラム</p>	<p>【地域小旅行】 ローカル線の環境デザインIIIの3: 栗原メモリアル</p>	<p>【共催プロジェクト（醤油の伝来と広まり）】 東北ブロック 発酵文化研究会 第2回</p>	<p>【学術研究発表】 第7回JUDI研究発表会+公募型プロジェクト発表会</p>
<p>#まちなかキネマ #産業遺産活用 #市民交流 #まちづくり</p>	<p>#大井川鐵道 #東海道鳥田宿 #東海道金屋宿 #アプト式鐵道 #蓬萊橋</p>	<p>#ひしお #ジャン #北前船 #醤油文化 #醤油蔵 #地域性 #食文化</p>	<p>#JUDI研究発表会 #プロジェクト発表 #文化的景観 #酒蔵 #パークマネジメント #自然景観 #ローカル線</p>

2020年12月-2021年1月の活動概要

四国ブロック	国際委員会	全国	東北+北陸ブロック
2020/12/19	2020/12/20	2021/1/6・1/28	2021/1/20
 <p>高栄報</p> <p>詳細へGO ></p>	 <p>JUDI通信</p> <p>詳細へGO ></p>	 <p>詳細へGO ></p>	 <p>詳細へGO ></p>
<p>【四国四県+岡山県モデルコース】 四国ブロック制作「都市環境デザインマップ」公開</p>	<p>【季刊情報誌】 JUDI通信2020年冬号 (No.18)発行</p>	<p>【桑折町歴まちサンボ提案検討】 北前船プロジェクト 福島県桑折町まちづくり、景観づくり検討会</p>	<p>【共催プロジェクト（醤油の歴史と発酵のまち）】 発酵文化研究会 第3回</p>
<p>#伝統的建造物 #土木構造物 #都市景観 #まちなみ</p> 	<p>国際委員会HPへGO></p> 	<p>#奥州街道 #デザイン提案 #学生提案 #無電柱化 #路地巡り</p> 	<p>#発酵のまち #たまり醤油 #甘い醤油 #小麦 #日本酒</p> 

関西+九州ブロック
2021/1/26
 <p>詳細へGO ></p>
<p>【災害復興を目の当たりにした学生たちは何を学んだか】 JUDIセミナー 災害復興:世代を繋ぐ、知の継承(その1)阪神淡路大震災の知の継承」</p>
<p>#復興まちづくり #復興事業 #まちづくり協議会 #阪神淡路大震災</p> 

本号のご紹介などを映像でご覧いただけます。

FaceBookライブへGO>

関西ブロック

公共空間の魅力を再点検
する<アメリカの状況と居
場所論から>

都市環境デザイン会議関西ブロッ
ク 2020年第2回都市環境デザイン
セミナー 公共空間の魅力を再点検
するーアメリカの... - 2020/07/
26 (日) 14:00 ~ 16:00 (JST) 参
加中で御座います。

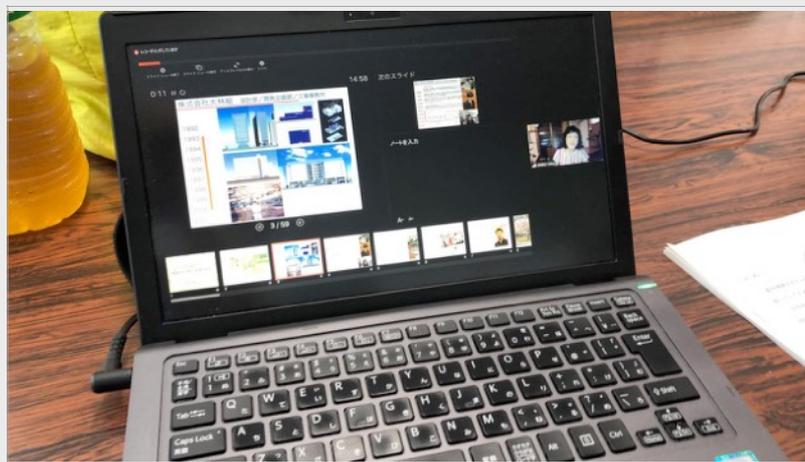
[FaceBookへGO>](#)

第2回都市環境デザイン都市環境デ
ザインセミナー
[公共空間の魅力を再点検する](#)
〈アメリカの状況と居場所論か
ら〉
[記録](#)
2020/7/26 | 大阪

[詳細へGO>](#)



[活動概要へ戻る>](#)



国際委員会

JUDI通信編集部(服部・岡・尾辻)で長崎市取材

2020年7月27日、JUDI国際委員会・JUDI通信編集部（服部・岡・尾辻）で長崎市に取材に伺いました。長崎市の景観まちづくり・景観計画～”世界の夜景都市”を掲げる環長崎港夜間景観向上基本計画～歴史まちづくりのレクチャーを受けた後、KEN OKUYAMA DESIGNの「稲佐山スロープカー」「長崎駅周辺再開発」「出島再整備」を視察しました。

長崎は、その稀有な歴史が今も色濃く残り、また関係する方々が大切にしながら丁寧なまちづくりに取り組まれ、とても素敵な都市空間、アーバンデザインが創出されていることがよ～くわかりました！ガッテン！！

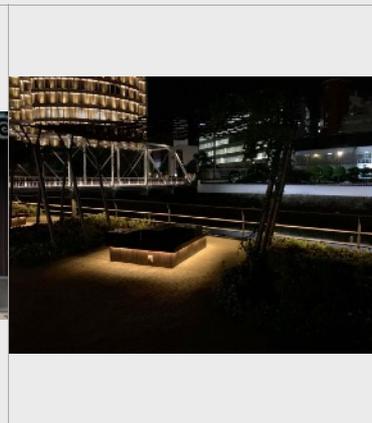
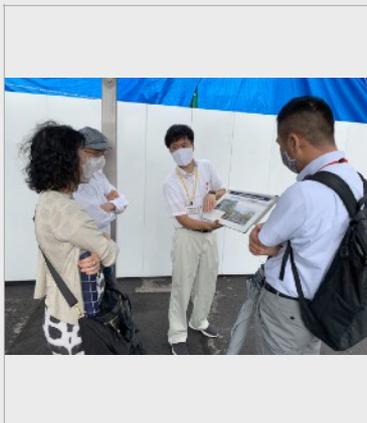
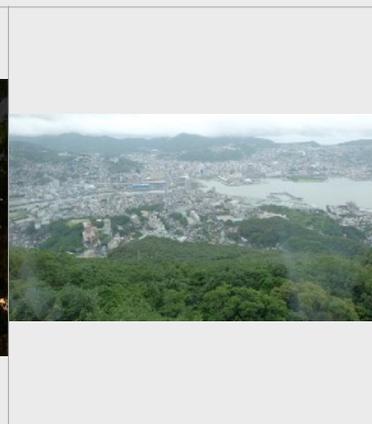
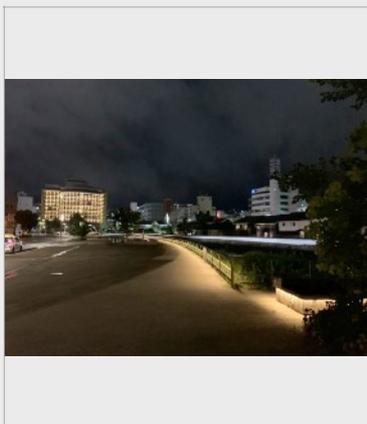
ご案内していただいた長崎市景観専門監の高尾先生をはじめ、長崎市の職員の方々、本当にありがとうございました。充実した取材になりました。次回、第17号のJUDI通信（9月20日配信予定）のプロジェクト100選で取りあげます。乞うご期待！

[FaceBookへGO>](#)

[FaceBookへGO>](#)



[活動概要へ戻る>](#)



全国

JUDI全国総会

例年よりひと月遅れでの総会は、リアル開催とリモート開催のハイブリッドになりました。会場となった王子北とぴあでは、密を避け、定員120名のところに8名参加、zoomで全国の会員と繋ぐ新しい形です。

途中、音声や画像共有が途切れたりしましたが、このやり方を習熟していくことで、全国組織としての新しい活動の形を模索していくことになりますので、会員皆さん、新役員の皆さんよろしくお願ひします。

本日、JUDI総会を開催。コロナ禍の中これまで通りのカタチは難しく、リモートとリアル併用で開催。全国組織として一つの弱点である距離を克服できるリモートの利点を活かし、今後各地で開催される活動の展開が期待される機会となっています。



[活動概要へ戻る>](#)

[FaceBookへGO>](#)

[FaceBookへGO>](#)

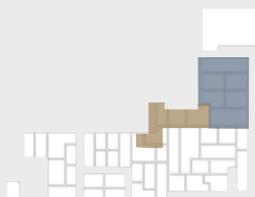
東北+北陸ブロック

東北・北陸酒蔵プロジェクト 発酵文化をテーマに
研究会【WEB】

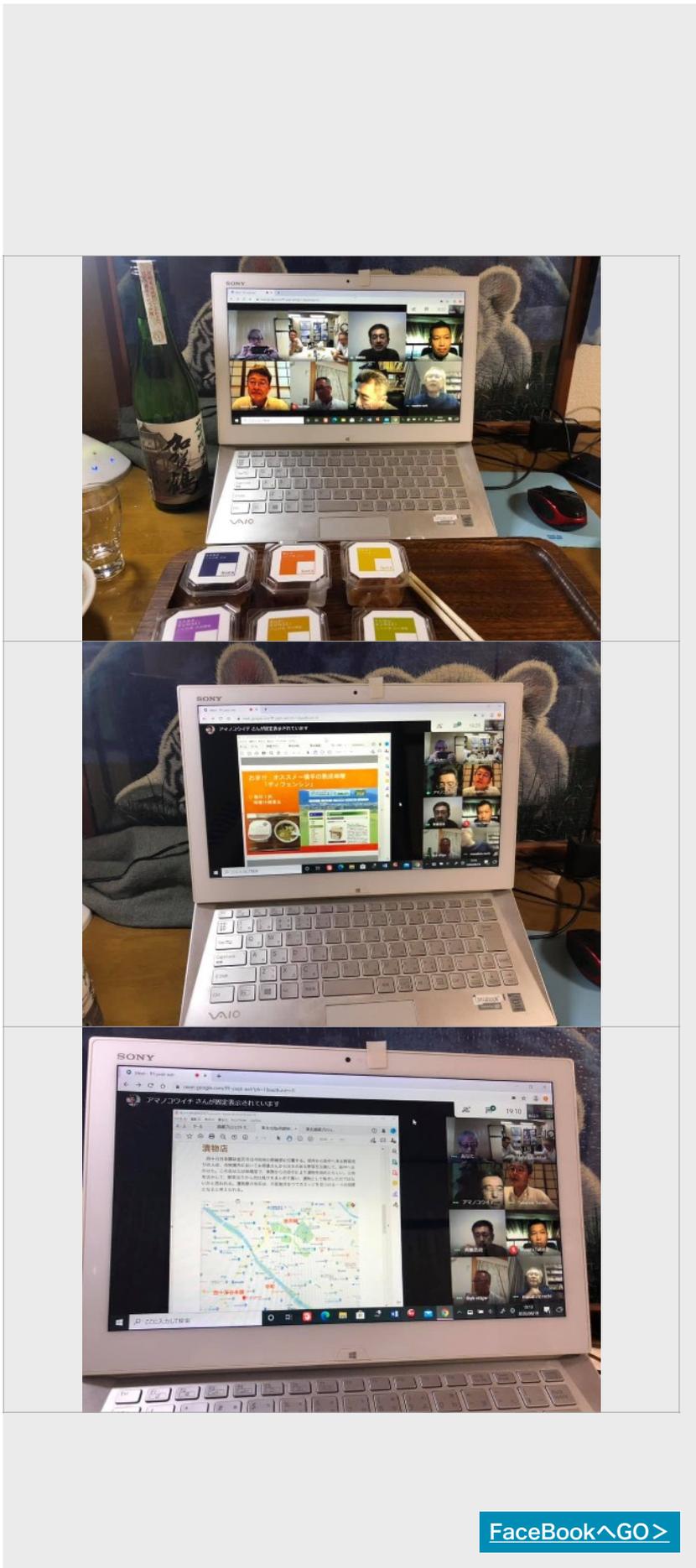
東北・北陸酒蔵プロジェクト！今回はリモートで発酵文化をテーマに研究会を開催しました。

参加者は9名。それぞれ、地元の地酒を用意し、これらと地域の繋がりなどのウンチクを語り、ご当地の文化を紹介しながらのリモート試食会！とても楽しい、いい機会となりました。それぞれの地酒と、ふぐの子（卵巣）糠漬け、こんか漬け、ほや塩辛、いかキムチ、いなだ、いしる、豆腐などが登場。

発酵文化は日本全国各地にあります。今後は東北、北陸ブロックにこだわらず、興味ある地域の方のご参加をお願い致します。



[活動概要へ戻る>](#)



関西ブロック

都市デザインはいかに伝えられるか?建築や都市をめぐるメディアの現在と展望

JUDI関西ブロック2020年第3回都市環境デザインセミナー 都市デザインはいかに伝えられるか?建築や都市をめぐるメディアの現在と展望 滋賀県大 山崎泰寛

京都会場とZOOMのハイブリッド開催中です。オンライン参加の皆様、音声・映像、如何でしょうか?

[FaceBookへGO>](#)

関西ブロックセミナーは月1回開催。現在、第6回まで開催。

【第6回】都市環境デザイン都市環境デザインセミナー

[〈街を撮る写真〉の可能性](#)

鳴海邦碩、溝口佑爾、別所隆弘
2020/12/10 | ZOOM

【第5回】都市環境デザイン都市環境デザインセミナー

[1時間旅行の試み](#)

〈見慣れたまちの再発見：近藤紀章・笹尾和宏・竹岡寛文・松本邦彦〉

[記録](#)

2020/11/24 | 大阪

【第4回】都市環境デザイン都市環境デザインセミナー

[色を使って街をとりもどす](#)

〈コミュニティから生まれる町並み色彩計画〉

柳田良造 / 2020/9/

18 (金) | 大阪

[詳細へGO>](#)



[活動概要へ戻る>](#)

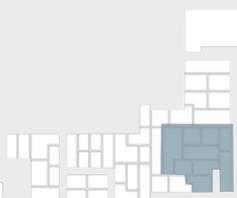


関東ブロック

関東ブロックセミナー
【WEBセミナー】「色
を使って街をとりもど
す」

この度、JUDI中部ブロックの柳田良造氏が、学芸出版社から「色を使って街をとりもどす」を出版なさったのをきっかけに、関東ブロックで柳田氏にお話を伺うWEBセミナーを企画いたしました。都市計画をはじめ、建築、土木、造園、照明、色彩など幅広い分野の専門家が属する団体であるというJUDIの特徴を活かして、色彩計画家の吉田慎悟氏にコメンテーターをお願いしました。

また、設計会社在职中に独自の色見本帳を作成なさったりと色に対する造詣の深い鹿児島大学の鯉坂徹氏にもご登場いただきます。大変短い時間ですのでどこまでお話を伺えるか不安ですが、どの分野にも関係が深い色の話ですから、全国から参加可能というWEB方式のメリットを活かして、幅広く参加を募りたいと思っております。是非皆様にご案内いただきたく、よろしくお願い申し上げます。



[活動概要へ戻る>](#)

色を使って街をとりもどす

都市環境デザイン会議 関東ブロック



8月29日 土曜日 15:00 ~ 17:00

WEBセミナー開催

Zoom 利用

QRコード
またはここ
からお申し込み



*Zoom 未登録の方はここからお申し込み



ご購入は書籍
をクリック

JUDI 中部ブロックの柳田良造氏が森下潤氏と共著で、「色を使って街を取り戻す」を学芸出版社から出版なさったのを機会に、景観法施行 15年を過ぎた現在の景観の色彩の現状や今後について、幅広く色彩計画に取り組んでこられた方々にご意見をいただくセミナーを開催することに致しました。
WEBセミナーの利点を活かして、日本各地からお話を伺おうという構成です。ご参加の皆さんからもご意見・ご質問をいただく時間も予定しておりますので、関東ブロックだけでなく、全国の皆様や JUDI 会員以外の方のご参加も歓迎いたします。

講師

柳田良造

建築家 (博士) 岐阜市立女子短期大学名誉教授
2013 年日本建築学会賞受賞 (論文) 2017 年日本建築学会教育賞
2019 年「色を使って街をとりもどす」を著す

コメンテーター

吉田慎悟

色彩計画家「色彩計画ハンドブック」視覚デザイン研究所 川添泰宏・千々岩英彰編著共著「まちの色をつくる…環境色彩デザインの手法」建築資料研究社 1998「景観法を活用するための環境色彩計画」丸善 2005

ゲストコメンテーター

鯉坂徹

建築家 鹿児島大学教授 歴史的建築の再生デザイン研究
モダンムーブメント建築および建築家研究
龍集落に関する研究、オフィス/教育施設等の建築計画の研究

司会&コメント

杉山朗子

JUDI 関東ブロック運営委員 色彩研究家
レインボーブリッジ色彩検討等
「地域イメージを活かす景観色彩計画」共著

ホスト & 進行 JUDI 関東ブロック幹事 金城正紀

[YoutubeへGO>](#)

[FaceBookへGO>](#)

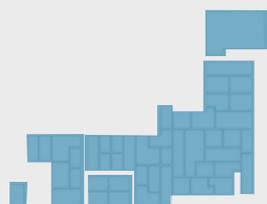
30周年記念事業実行委員会

30周年記念事業実行委員会のキックオフミーティングを開催

30周年記念事業実行委員会のキックオフミーティングを開催しました。公募参加の5名+理事6名の11名でのスタートです。

初回は、11名全員がzoomに参加し(全員の都合が合うなんて奇跡的)、各委員の自己紹介に、20周年の振り返り、そして自由に意見交換をして、実行委員長、事務局などの役割を決めて終わりました。

過去に敬意を払い、未来を展望する機会にしていきたいと思っています。

[活動概要へ戻る>](#)[FaceBookへGO>](#)

広報委員会

下呂温泉・高山市・白川郷 視察研修会

GoToキャンペーンを利用し、広報委員会で7月豪雨被害のあった飛騨、下呂エリアへの復興支援を込めて研修会を実施。紅葉も見頃。いいタイミングです。

まずは飛騨市神岡と古川へ。広報委員会研修会。目的地の下呂温泉に到着。まずはまち歩き。背景の山並みに調和するようにと舗装の色が緑系。ゲロゲロということでカエルマークも。ゲロゲロバターって

夜の帳が下りてきて、そろそろ温泉に入りましょう

広報委員会研修会2日目。今日はまずは高山。古い町並みもますますきれいに。無電柱化の範囲も広がってます。

広報委員会研修会。最後は金沢で反省会。金沢の夜を満喫中。

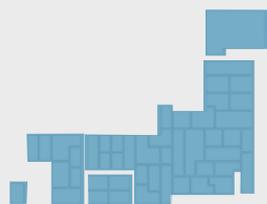
[YoutubeへGO>](#)

[FaceBookへGO>](#)

[FaceBookへGO>](#)

[FaceBookへGO>](#)

[FaceBookへGO>](#)



[活動概要へ戻る>](#)



東北+北陸ブロック

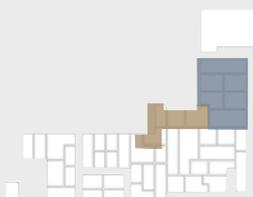
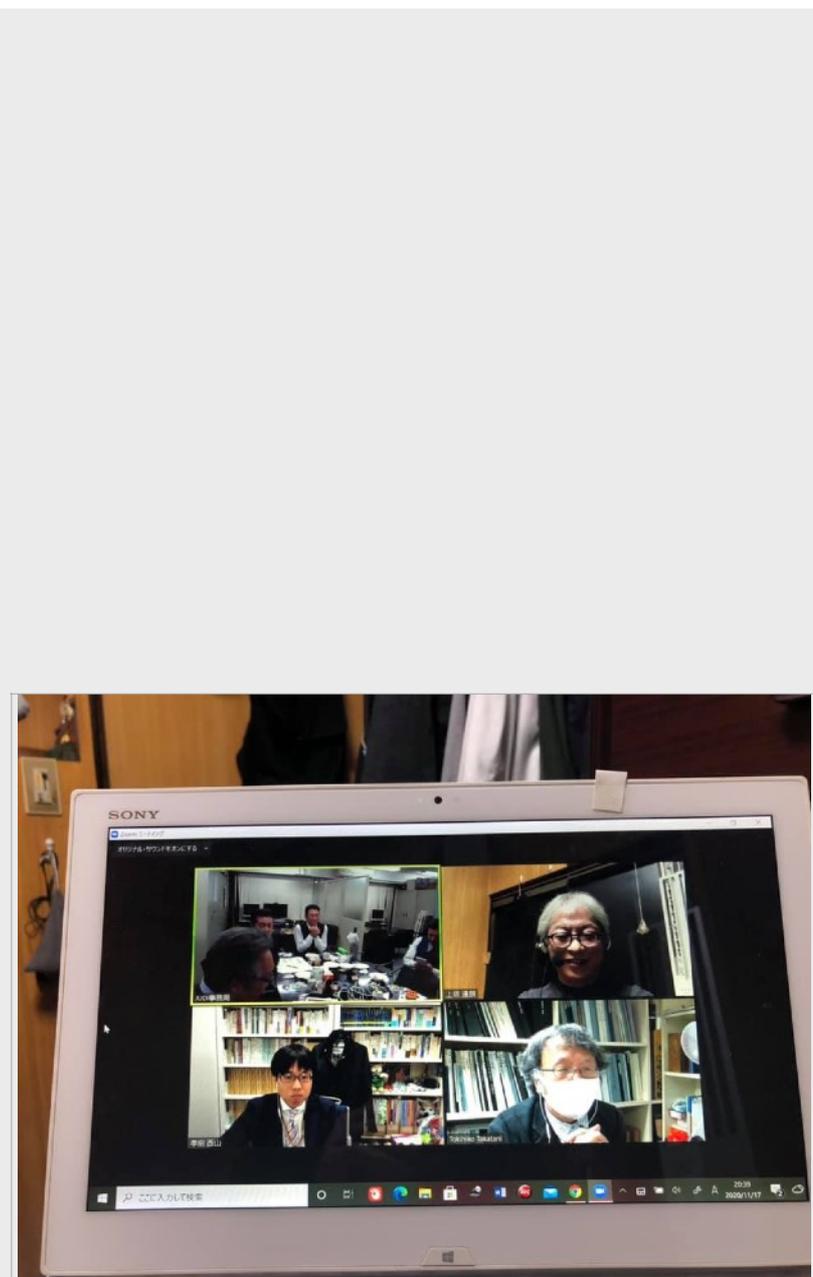
発酵文化研究会 第1回

東北・北陸ブロックプロジェクト、発酵文化研究会が、リアルandリモートで開催されました。

研究会に先立ち東北ブロックの新メンバー、天野さんと西山さんの紹介がありました。また、鶴岡市のまちキネ存続に向けた意見交換も。こちらはまたあらためて広報します。

本題の研究会では、各人の役割分担に従って、魚醤、醤油、魚などの発酵食と、これらの生産地のまちづくり、歴史について報告。食文化とまちづくりに関する興味深い話で盛り上がりました。

今回は、秋田男鹿半島のしょっつる、石川能登のいしる、石川のふぐの子、醤油醸造のまちとして和歌山県湯浅町、千葉県銚子市、野田市、愛知県半田市、兵庫県龍野町、香川県小豆島、石川県金沢市などが紹介された。

[活動概要へ戻る >](#)[FaceBookへGO >](#)

全国

関西ブロックフォーラム 大公園からネットワーク する新しい時代のまちづ くりピア（公募型プロジェク ト関連イベント）

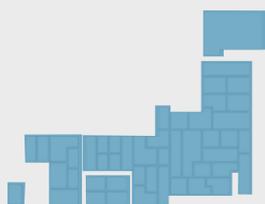
大公園からネットワークする新しい時代のまちづくりピア

ーフォーラム 扇町マナビバー
NPO 法人もうひとつの旅クラブ
は、扇町公園南端エリア（噴水跡
残地とこれに続く公園最南端域）
を舞台に、2019年夏の大阪市・大
公園（大阪市営公園）の魅力向上
に向けたマーケットサウンディング
（市場調査）に応じた。

ここでは、“質の高い特徴的な保育
機能”とともに、これに続く南端に
都心型の新しい学びの場“マチ農
場”を配し、これらを結ぶ、学びの
交流機能“マナビバカフェ”を提案、
この全体を「扇町マナビバ」と名
付けた。

しかし、2020年に入り、今般の
コロナ禍によって「扇町マナビ
バ」のコンセプト上において「ま
ちづくり波及性の観点」から、新
しい時代の読み込みの必然性を強
く感じた。「まちづくり波及性の
観点」とは、人と人をつなぐ、
あたかも“栈橋（ピア）”のよう
な役割だ。

そこで今般、大公園からネット
ワークする新しい時代のまちづく
りピアフォーラム「扇町マナビ
バ」を関係各位の協力も得て開催
する運びとなった。



[続きを見る>](#)



公募型プロジェクトで助成を受けた都市公園を考えるフォーラムを開催しました。コロナ対策で定員700人の会場に定員80名で対面開催。充実した内容になりました。ご参加いただいた皆さまありがとうございました。

[FaceBookへGO>](#)

全国

大公園からネットワーク
する新しい時代のまちづ
くりピア

《開催日時》2020年11月21日（土）13:00-17:00

《会場》北区民センター・大ホール

※会場定員700名の所、コロナ対策徹底のため80名定員にて（オンライン開催ナシ）

《参加申込み》

下記URLの専用フォームよりお申し込みください。

<http://bit.ly/manabiba>

先着順に受け付けます。参加定員に達し次第締め切ります。（受付可否はeメール「自動返信」で連絡します）

資料代実費500円を当日、会場で徴収します。（当日資料+当日ダイジェスト版を後日eメール送信）

学生（大学・専門学校生）は資料代不要。（申し込み時「在籍校」明記の上、当日受付で「学生証」要提示）

《ご了解事項》

会場はマスク着用（マスク着用が確認できない場合、入場不可）

その他、会場内では安全確保のための指示事項に従っていただきます。

《当日スケジュール》※肩書および旅クラブメンバーの敬称略

■ 開始・趣旨説明

■ 突破口としての提起

記憶と創造「大阪百景⇄未来景」 橋爪 節也さん

■ 「まちづくりピア」とは（事例発表）

大公園を舞台に「中之島舟屋プロジェクト」の場合 岸田文夫

栈橋という公空間を舞台に「ご来光カフェ」の場合 岩田尚樹

都市（マチ）に祈りを Hālau Hula O Mehana（ハラウ フラ オ メハナ）

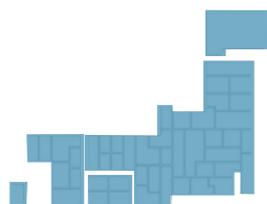
■ セッション

・パネラー 岸上純子さん／武田重昭さん／堤道明さん／泉英明
コーディネータ / 福田知弘

主催：NPO法人 もうひとつの旅クラブ

共催：JUDI都市環境デザイン会議

後援・運営協力：（一財）大阪市コミュニティ協会・北区民センター



活動概要へ戻る>

FaceBookへGO>

北陸ブロック

北陸ブロックフォーラム
自然物が創る都市の魅力

北陸ブロック初のオンラインフォーラムの開催。

今期から代表幹事になられた、福井大学の野嶋先生のご挨拶から始まりました。

基調講演は金沢美大の鏗先生。公募型プロジェクトタイトルの「自然物が創る都市の魅力」と題して、主に金沢のまちなかから見える自然物について、江戸時代に描かれた屏風絵や空撮映像などをもとに解説頂き、借景にみる遠景の自然物、「もののあはれ」という美しさなど、都市の中の自然物の魅力についてご講演いただきました。

パネルディスカッションでは、新潟・上山さんが新潟の中心部の軸線における緑の成り立ちや新潟の地形の変遷からの読み解き、水辺、都市と農地の接点について、富山・島津さんは立山が見える四季という自然物に都市のレイヤーデザインをどう設定していくかという都市デザインのあり方を、石川・新田川さんは都市に関わる自然物を水・緑・石のほか光による陰影など様々な視点から捉え、特に、都市の魅力を創る「緑」について、福井・峠岡さんは観光という視点から、食と人との出会いに自然物の癒しは重要なポイントで、越前大野における周囲の山々・庭園・湧き水などは、見るだけでなく地域資源として活用されている事などが紹介されました。そして、北陸4県それぞれのまちの「自然物が創り出す都市の魅力」についてさらに議論が深まりました。

活動概要へ戻る>

都市環境デザイン会議 北陸ブロックフォーラム2020

自然物が創る都市の魅力
～北陸4県の魅力の再発見～

日時：2020年11月28日 [土] 15:00～17:30
会場：オンライン方式 [Zoomを予定しています]

プログラム

15:00～15:05	開会・ブロック幹事挨拶	野嶋慎二氏 (福井大学大学院教授・JUDI会員)
15:05～16:00	基調講演	鏗 隆弘氏 (金沢美術工芸大学教授・JUDI会員)
16:00～17:30	パネルディスカッション	
	コーディネーター	鏗 隆弘氏 (上山アドエ代表・JUDI会員)
	パネリスト	上山 寛氏 (島津勝弘氏 (島津理地グラフィックス (有)・JUDI会員) 新田川貴之氏 (株) 国土開発センター・JUDI会員) 峠岡伸行氏 (福井県経営者協会・JUDI会員)

【参加無料】
参加者募集
定員100名

主催：都市環境デザイン会議 (JUDI) 北陸ブロック
【お申込み・お問合せ】都市環境デザイン会議 北陸ブロック事務局 担当：岡 (南日本海コンサルtant社)
TEL: 076-242-9221 / FAX: 076-242-9307 / メール: info@citydesign.or.jp / www.citydesign.or.jp



FaceBookへGO>

FaceBookへGO>

FaceBookへGO>

FaceBookへGO>

FaceBookへGO>

FaceBookへGO>

東北ブロック

緊急開催! まちキネの創造的再生とまちづくりを考えるフォーラム

まちキネの存続と再生を願う会さん、菊池 俊一さんのイベント

先ごろ鶴岡市は、市社協が鶴岡まちなかキネマの土地と建物（B棟C棟）を取得し、キネマ1（165席）キネマ2（150席）エントランスを会議室や介護予防スペースに改修するという活用案を公表しました。キネマ3（80席）とキネマ4（40席）は交流スペース（映画上映機能付き）として残される方向です。

一方、まちキネ設計者である高谷時彦さんは「同じ敷地にあるD棟・E棟も一体として捉えて、より創造的な解決を図るチャンスではないか」と提案しています。

※高谷さんの提案→ <https://bit.ly/2lJKx7z>

まちなかで福祉とアートが融合することで、様々な社会課題の解決につながっていく。ユネスコ創造都市/SDGs未来都市である鶴岡ならではの未来の姿を考えるフォーラムを企画しました。各界の第一人者も参加決定！市の活用案を含めて、創造的な解決を検討しましょう。

10619筆が集まったまちキネ再生を願う署名活動について、報告と御礼を伝える機会ともさせていただきます。関心ある皆様のご参加をお待ち申し上げます。

[活動概要へ戻る>](#)



【概要】

イベント名：まちキネの創造的再生とまちづくりを考えるフォーラム
会場：まちづくりスタジオ鶴岡Dada

日時：2020年11月29日（日）14:00～16:30 ※後日、アーカイブ配信します

主催：まちキネの存続と再生を願う会（代表：菊池俊一 山形大学農学部准教授）

ゲスト：後藤治さん（建築・地域再生の第一人者。工学院大学理事長）、森まゆみさん（作家。市民として地域の建築を守り育てる活動を実践）、上西明さん（建築家。劇場ホール建築のエキスパート）

参加費：一般500円 / 学生無料

会場定員：40人 ※申込多数の場合、抽選となります

申込〆切：11月24日（火）

★申込は下記フォームから（Facebookイベントの「参加」ボタンを押しただけでは申込になりませんのでご注意ください）

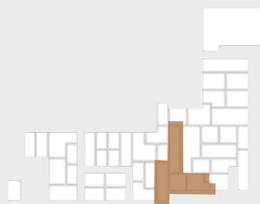
[FaceBookへGO>](#)

中部ブロック

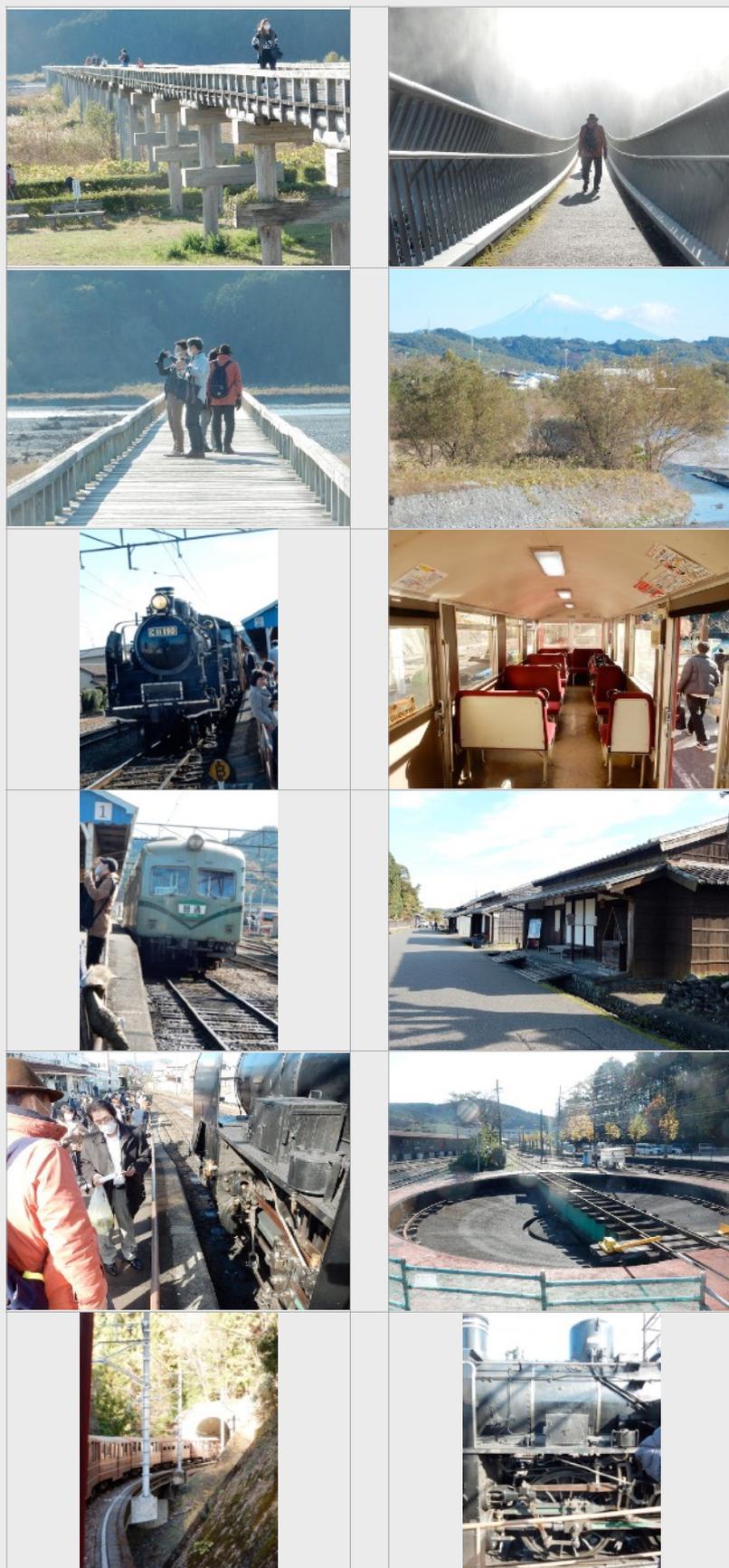
ローカル線の環境デザインIIIの3：栗原メモリアル

紅葉の大井川鐵道と東海道島田宿と金谷宿を満喫。

[FaceBookへGO>](#)



[活動概要へ戻る>](#)



東北+北陸ブロック

発酵文化研究会 第2回

東北・北陸ブロック 第2回発酵文化研究会が12月16日にリアル&リモートで開催された。今回は「醤油が発展した時間と空間」に焦点があてられ、醬（ひしお/ジャン）の発酵の仕組み、醤油の起源や醸造の歴史、主な生産地と地域性、魚醬の一つ「いしる」などについて情報を持ち寄り話合われ、その奥深さと地域のまちづくりにも関わりがあることが見えてきました。尽きることのない話題にリアル飲みできる日が待ち遠しくなった。

活動概要へ戻る>

日本三大魚醬の一つ いしる (いしり) とは？

深い発酵の味わい

いしる(いしり)とは、能登半島(石川県)に醤油より以前から愛用されてきた伝統的な発酵食品
 国産の新鮮なイワシやイカを原材料に、1年以上じっくり熟成・発酵させた液体調味料
 魚由来の旨み成分のアミノ酸が豊富に含まれている。
 いしる(いしり)は能登半島を中心。
 かつおだし、こんぶだしの風味とは異なる味。
 鍋料理や、野菜の煮炊きや炒め物、つけ・かけにと愛されています。



醬 (ひしお/ジャン)

出典：食とアニミズム 玉利 康延

東南アジアの調味料

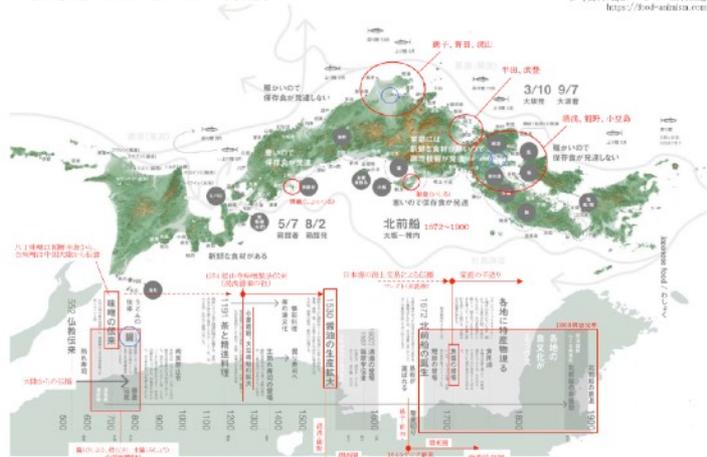


我々日本人が日常食べて神聖化している味噌と醤油は、醬という一大カテゴリーの中のツリ一を辿っていった三階層目あたりにある極東のローカルフードということになる。
 大豆からつくった『穀醬』(こくしょう)を作り始めた歴史は実はけっこう新しい。歴史的には、最も古くに肉から作り出した『肉醬』(にくしょう)があり、またほぼ同時期に『魚醬』(ぎょしょう)があったと言われる。



■発酵文化研究会 参考資料：醤油が発展した時間と空間 (2020.12.16)

参考資料：食とアニミズム 玉利康延
<https://food-animita.com>



全国

第7回JUDI研究発表会 公募型プロジェクト発表会

本日、研究発表会開催中です。
リモート形式での開催。現在参加者数51名です。

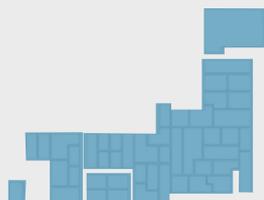
令和2年12月19日（土）に、
研究発表会の場を借りて2019年度
公募型プロジェクト完了6プロジェクトの発表を実施しました。中身
濃い、JUDIらしいテーマの
内容、発表者の皆さまありがとうございました。また、WEB参加して
頂いた皆様有難うございました。

公募型プロジェクト
梗概集へGO>

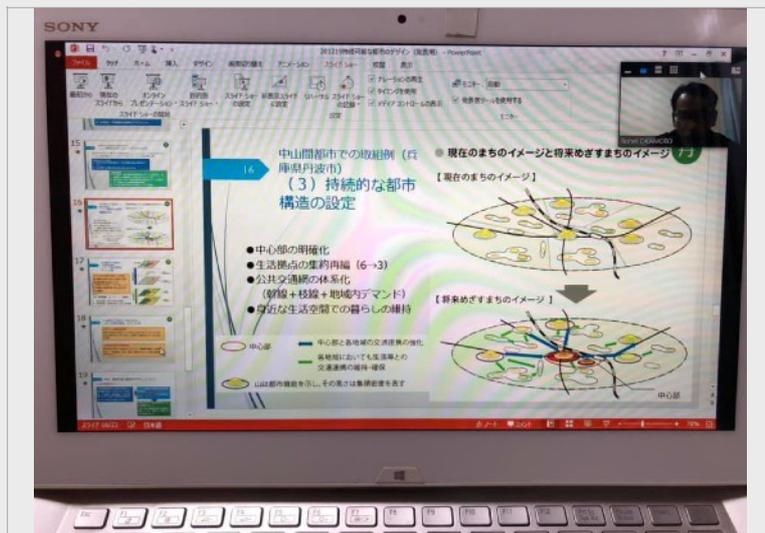
FaceBookへGO>

FaceBookへGO>

FaceBookへGO>



活動概要へ戻る>



四国ブロック

四国ブロック制作「都市環境デザインマップ」公開

都市環境デザインマップ四国編・中国編のご案内です。

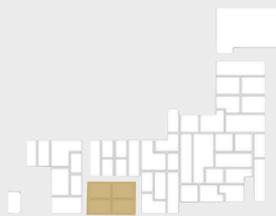
これは四国ブロックの高知工科大学の重山先生が中心となり進められている公募型プロジェクトの成果で、現存する建築物、土木構造物及び都市景観について厳選しまとめられたマップです。エリア毎にそれぞれの解説とモデルコースが紹介されています。手に持ってまわられるリーフレットも用意されています。

ぜひご覧頂きツアーなどご活用ください。以下URLからどうぞ。

四国ブロック「都市環境デザインマップ」へGO>

今後、中国地方についてさらに拡充される予定です。

FaceBookへGO>



活動概要へ戻る>

都市環境デザインマップ

デザインマップとは

中国地方

chugoku



四国地方

shikoku



四国都市環境デザインマップ

デザインマップとは

香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県



中国都市環境デザインマップ

デザインマップとは

岡山県 / 鳥取県 / 島根県 / 広島県 / 山口県



高梁編

岡山県高梁、南北で球状中心に位置し、農林業が盛んな観光地帯な地域です。登録有形文化財である「白備線方谷駅や、天守が残る日本で唯一の山城の備中松山城をはじめとする歴史的建築物や現存建築物など、豊かな自然と歴史を感じられます。

ツアー

1 JR 白備線方谷駅

1928年に倉敷と伯耆大山との間で建設された。木造平屋建、切妻造で白瓦葺で、登録有形文化財である。

P あり

車で約35分

2 備中松山城

1683年に現在の姿になる。天守が残る日本で唯一の山城。「雲海に浮かぶ天空の山城」と呼ばれている。

P あり

車で約7分

3 頼久寺庭園

1 JR 白備線方谷駅

車で約35分

2 備中松山城

車で約7分

3 頼久寺庭園

車で約20分

4 成羽美術館

車で約40分

5 吹屋

岡山県

鳥取県

島根県

広島県

山口県

備前編

タグから探す

すべて

全国

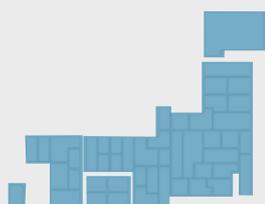
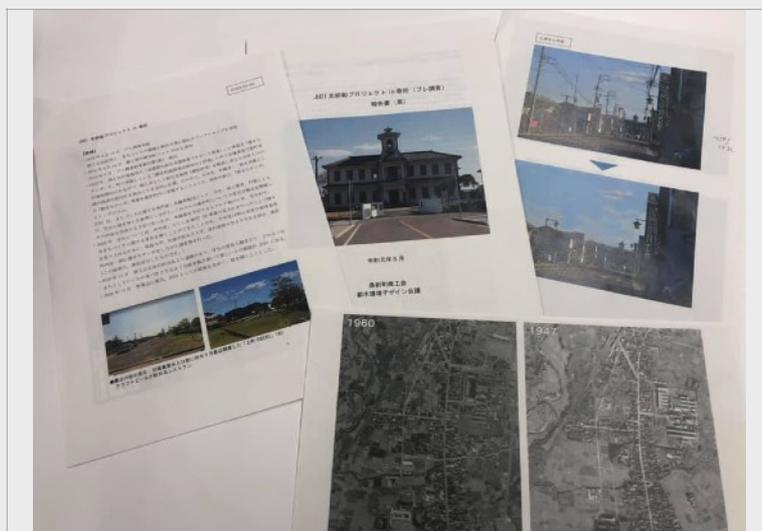
北前船プロジェクト 福島 県桑折町まちづくり、景 観づくり検討会

皆様 あけましておめでとうございます
います

本年もよろしくお願ひ致します
昨日、先般理事会からの報告にあ
りました、北前船プロジェクト、
福島県桑折町のまちづくり、景観
づくりの検討会がWEBで開催され
ました。

東北の雄、伊達家発祥の地、奥州
街道と羽州街道の分岐点である追
分のある町、色んな可能性を秘め
た町の将来像を議論しました。

地元商工会から委託を受けJUDI
としてのプランを2月末までにまと
める予定です。



[活動概要へ戻る>](#)

[FaceBookへGO>](#)

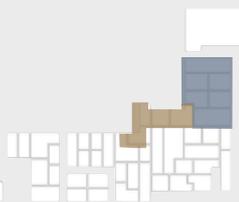
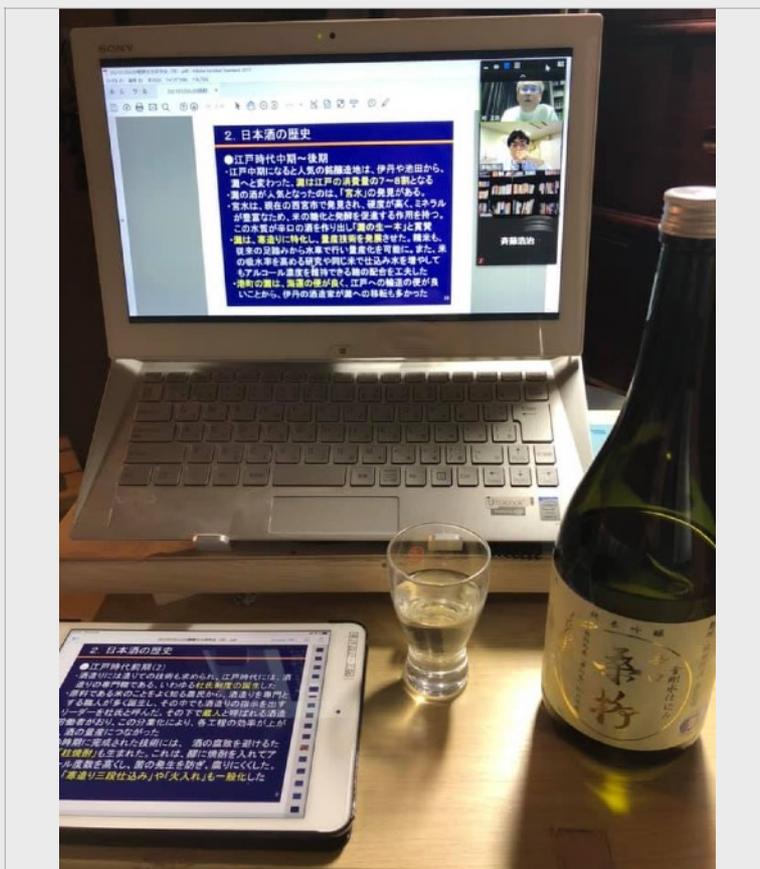
東北+北陸ブロック

発酵文化研究会 第3回

本日、東北北陸ブロック協働、発酵文化研究会をリアル&リモートで開催。

研究会に先立って、鶴岡市のマチキネ問題について状況報告と議論が交わされました。この件はまたあらためて発信します。

発酵文化研究では、醤油について深掘りされ、基本的には地産地消の傾向にあること、醤油醸造の街の話など興味深い話が飛び交いました。また、日本酒の歴史や酒粕の話など、日本のまちづくりの歴史とも重なる深い〜話で盛り上がりました。



[活動概要へ戻る](#)

[FaceBookへGO](#)

関西+九州ブロック

JUDIセミナー 災害復興： 世代を繋ぐ、知の継承(その1)阪神淡路大震災の知の継承

<趣旨>

昨年9月17日、都市計画学会関西支部主催で、「復興検証と知識継承」シンポジウムが開催されました。今回のセミナーはその続編です。大災害後の復興まちづくり・復興都市計画という活動を通して、承継者は次の世代に何を継承しようとしたか、どのように継承しようとしたか、またその継承者は、その姿に何をみており、何を受け継いだか、世代を繋ぐ知の継承はどうあるべきか。現場を超えた知の継承を3世代に渡って考える場を持ちたいと思います。

まずは第1回目として、「阪神淡路大震災の知の継承」を下記のように実施します。さらに第2回として「東日本大震災の知の継承」、第3回目として「中越地震、熊本地震の知の継承」を開催する予定です。

世話人 岡絵理子



[活動概要へ戻る>](#)

*経験の伝達1 (鳴海邦碩)

<復興・防災は特殊なまちづくりか>

復興や防災がまちづくりの基本であるにもかかわらず、長く特殊な領域として取り扱われてきた。そうした状況下にあった私たちは、阪神・淡路で「復興・防災」に直面せざるを得なかった。その経験の一端を紹介しつつ、それを同じ場で体験した次の世代が何を得たかについて意見交換したい。

*経験の伝達2 (小林郁雄)

<復興都市計画事業のあるべき姿は>

復興市街地再開発事業（とりわけ阪神大震災の新長田南地区）などがうまくいかない（評判が悪い）のは、なぜだろう？まちづくり協議会など地域住民主体の事業への参画が都市計画事業に不可欠と阪神・淡路の復興経験が明らかにしているのに、依然として都市計画法は旧態のままなのは、なぜか？

学んだこと1；越山健治（関西大学）（15分）

学んだこと2；柴田祐（熊本県立大学）（15分）

学んだこと3；阿部俊彦（立命館大学）（15分）

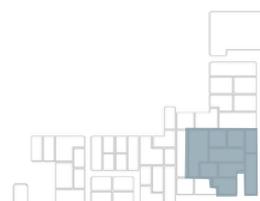
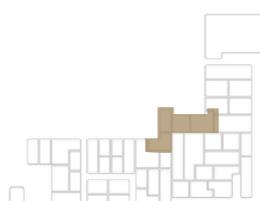
○主催

都市環境デザイン会議関西ブロック、九州ブロック共催)

[PeatixへGO>](#)

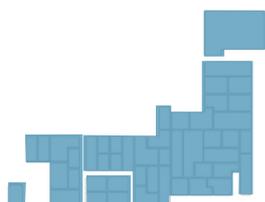
活動詳細はブロックオリジナルサイトへ

北海道ブロック	東北ブロック	北陸ブロック	関東ブロック
北海道	青森県 秋田県 山形県 宮城県 福島県	石川県 富山県 福井県 新潟県	東京都 埼玉県 千葉県 神奈川県 栃木県 群馬県 茨城県 山梨県 長野県
詳細へGO >	詳細へGO >	詳細へGO >	詳細へGO >

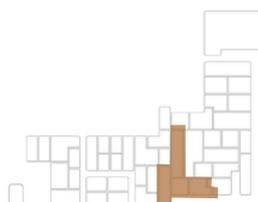


都市環境デザイン会議とは？
詳細へGO >
入会申込みへGO >
公式FaceBook
活動FaceBook

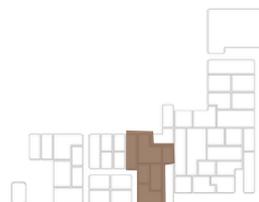
国際委員会
詳細へGO >



中部ブロック
愛知県 岐阜県 三重県 静岡県
詳細へGO >



関西ブロック
大阪府 京都府 滋賀県 兵庫県 和歌山県 奈良県
詳細へGO >



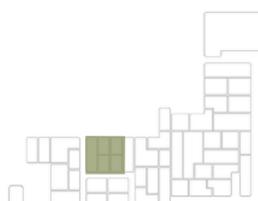
琉球ブロック
沖縄県
詳細へGO >



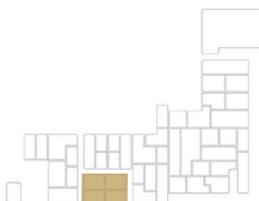
九州ブロック
福岡県 佐賀県 大分県 長崎県 熊本県 宮崎県 鹿児島県
詳細へGO >



中国ブロック
山口県 広島県 島根県 鳥取県 岡山県
詳細へGO >

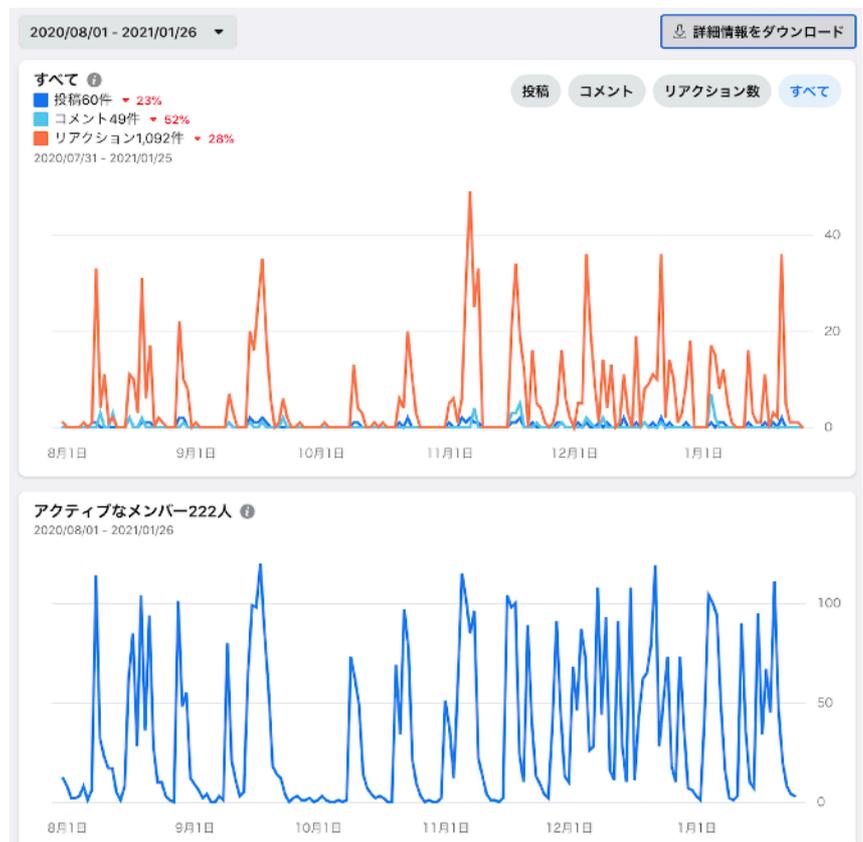
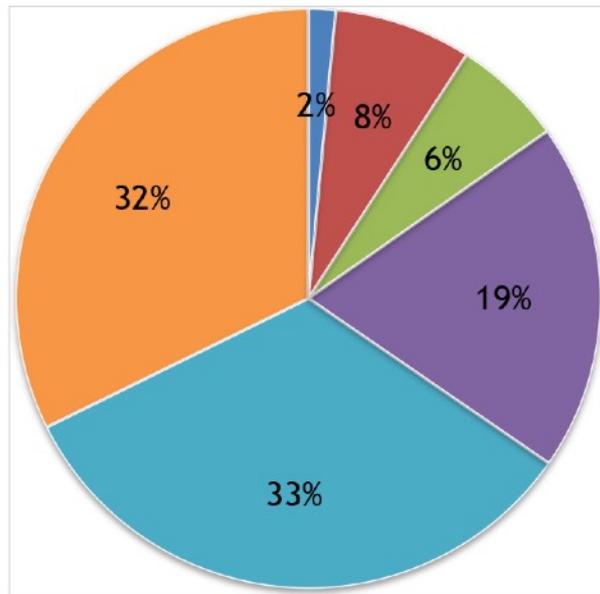


四国ブロック
愛媛県 香川県 徳島県 高知県
詳細へGO >



★JUDIクラブの利用実態★

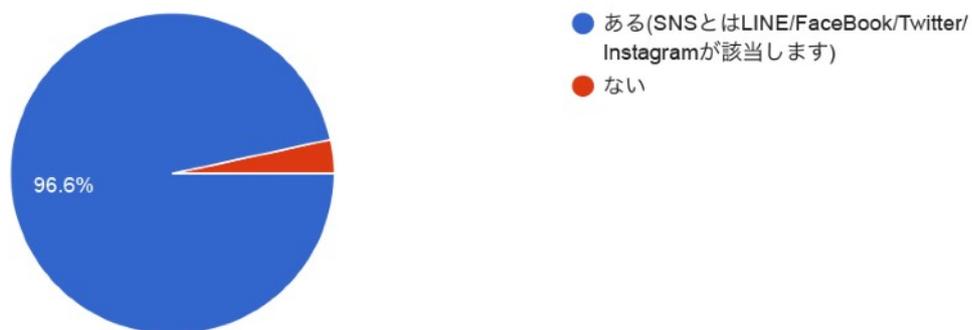
年齢層	女性	女性(%)	男性	男性(%)	
13-17	0	0%	0	0%	0
18-24	1	0.4	3	1.1	1.5
25-34	4	1.5	16	6.1	7.6
35-44	2	0.8	14	5.3	6.1
45-54	9	3.4	42	16	19.4
55-64	13	4.9	74	28.1	33
65+	10	3.8	75	28.5	32.3



★SNS活用アンケートの結果★

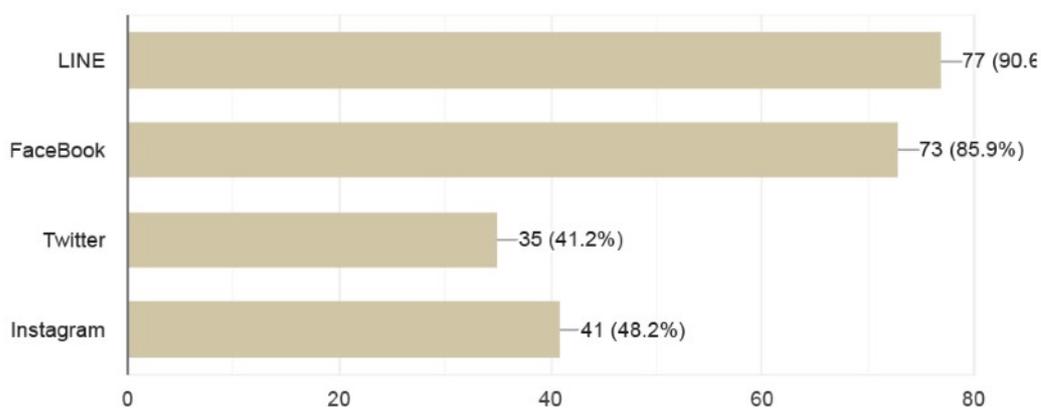
SNS(ソーシャルネットワーク)を利用したことがありますか？

88 件の回答



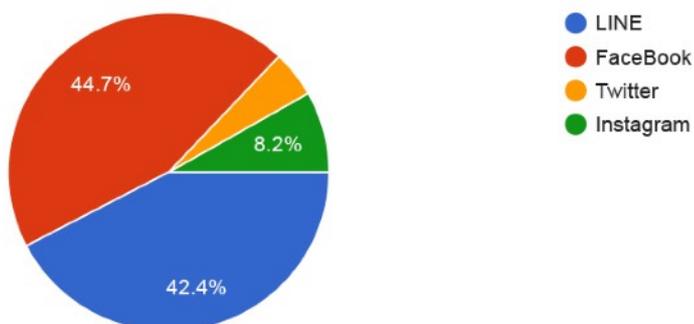
利用・登録しているSNSを教えてください。(複数選択可)

85 件の回答



主に活用しているSNSを教えてください。

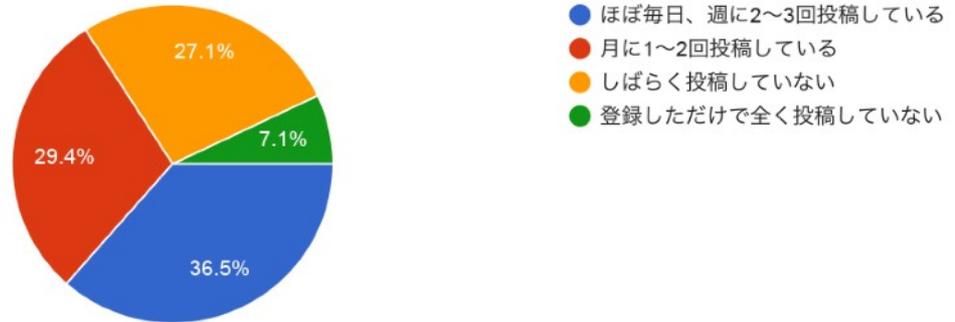
85 件の回答



★SNS活用アンケートの結果★

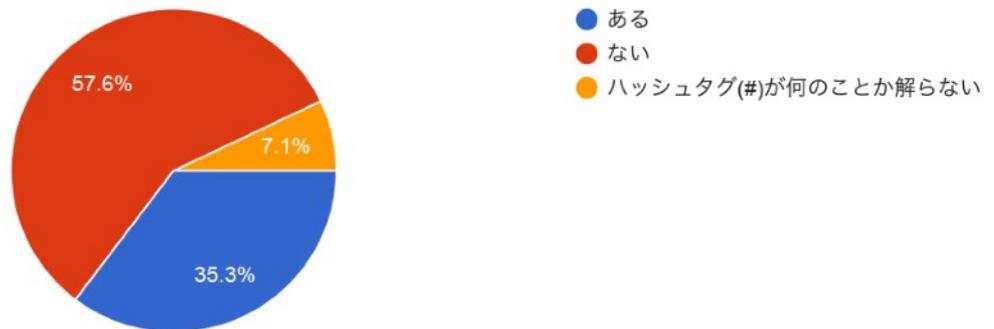
SNSへの投稿頻度を教えてください

85件の回答



キーワード検索を促すハッシュタグ(#)を活用したことはありますか？

85件の回答



★JUDI 広報委員会からのお知らせとお願い★

【JUDI JOURNAL で都市環境デザインの和を広く繋げよう！】

- ・ JUDI JOURNAL は、JUDI の様々な活動をはじめ、景観デザイン支援機構（TDA）やパブリックデザインコンソーシアム（PDC）の活動、JUDI 会員が関係する各種活動などを、年4回に分けてまとめ、会員及び会員以外の方に伝え、都市環境デザインの輪を広く繋げていくためのツールとして発行します。
- ・ JUDI JOURNAL は、主にFaceBook やHP にアップされた情報をもとに編集します。
- ・ JUDI JOURNAL は、PDF 版（A4）とスマートフォンで閲覧できるスクロール版で作成します。いずれも、掲載記事には情報源へのリンクを組み込みますので、それぞれ情報源のFaceBook やHP を簡単に閲覧することができます。

【広報委員になって全国ブロックと交流しよう！】

- ・ 現在、広報委員は関東B、関西B、中部B、北陸B、琉球B からの参加で計7名となっています。地方ブロックから各1名以上加わって頂くことを理想としています。ぜひ、広報委員会にご参加頂き一緒にJUDI を盛り上げていきましょう。
- ・ 広報委員はJUDI 会員であればどなたでも、またいつでも参加可能です。参加希望の方は広報委員またはJUDI 事務局へご一報お願い致します。
- ・ 広報委員会の編集会議は毎月1回、主にZoom で開催。また年2回、広報委員が所属する地域へ赴き、現地取材やブロック間交流を図ります。

【FaceBook を活用しましょう！】

- ・ 各種活動の告知や活動報告を積極的にFaceBook のJUDI クラブまたは各ブロックで開設のFaceBook へアップして頂きますようお願い致します。
- ・ 各ブロック独自に地方色を活かしたFaceBook を開設、運用して頂くことを推奨しています。開設後はJUDI クラブとリンクすることで、全国への発信もさらに広がります。
- ・ 未開設のブロックにおかれては、ご検討お願い致します。必要に応じて広報委員会がご支援致します。

★JUDI 広報委員会からのお知らせとお願い★

【投稿募集案内掲載】

JUDI JOURNALでは、会員の皆様方からの投稿を募集します。

例えば、

- ・ FacebookのJUDIクラブにアップした記事の詳細版としての投稿
- ・ 日頃会員の皆様が取り組んでいる活動を広く紹介したいこと
- ・ ブロック便り
- など

ただし、特定の個人や企業の営利を目的とした内容や誹謗中傷的内容などは掲載できません。投稿の掲載可否については広報委員会において審議させていただきます。

なお、2,000字+写真5枚/回を上限の目安として、これを超える場合は2号に跨がっての掲載を検討します。投稿希望の方は以下URLより投稿フォームへお進みください。

ふるってのご投稿を、よろしくお願い致します。

投稿フォームURL (以下をクリック)

<https://forms.gle/5EVhfpvuM3nxrgZE7>

本号のご紹介などを映像でご覧いただけます。

[FaceBookライブへGO>](#)

広報委員会

委員長 上坂達朗(北陸ブロック)

委員 新嘉喜長健(琉球ブロック)

井上洋司(関東ブロック)

岡絵理子(関西ブロック)

金城正紀(関東ブロック)

河崎泰了(中部ブロック)

富岡仁計(関東ブロック)